

マンションの排水管更新に好適

JUST工法

スリム継手 既設立て管より
1mm小さい外径の継手

KOJIMAのJUST工法は、排水立て管を楽々引き抜き、
スリム継手をスッポリ納めます。

低騒音 **低振動** **低粉じん** **短工期** を実現し、
居住者の工事中のストレスが大幅に軽減されます。

既設立て管より
1mm小さい外径

STEP-1



楽々 引抜き

STEP-2



ピッタリ挿入

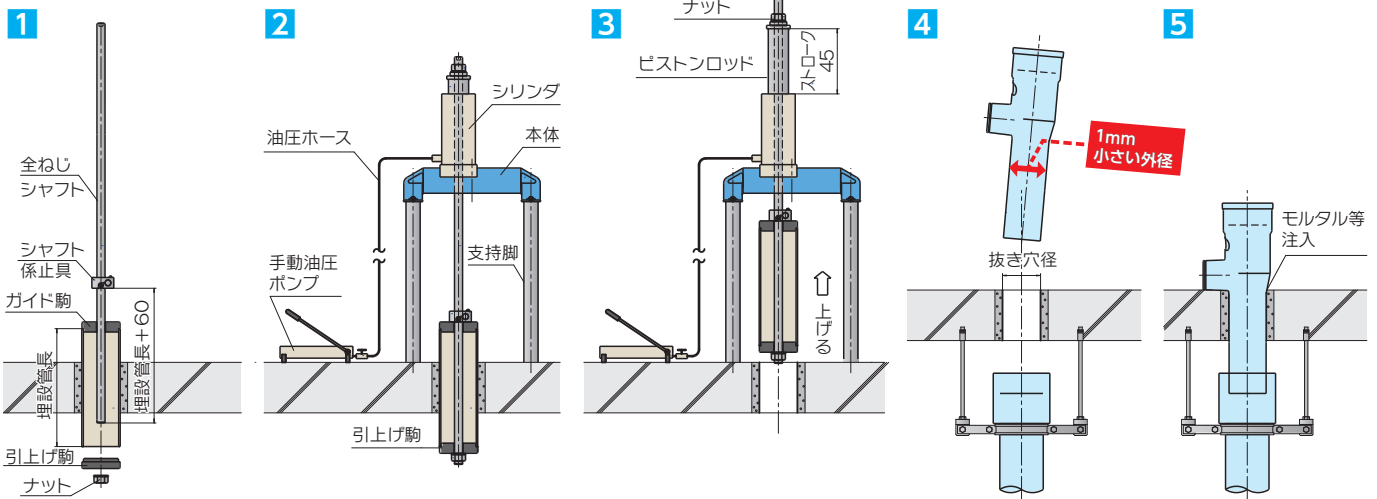
リフォームのKOJIMAが工期中のストレスを大幅に軽減します。

1.引き抜く……PJ-350(ジャッキ)の仕様

詳細はホームページをご覧ください



① 立て管更新施工手順



1 既设立て管の切断

立て管をスラブの上面および下面近くで水平に切断する。切断した管の上端にガイド駒を取り付ける。全ねじシャフトの下端から埋設管長+60mmの位置にシャフト係止具を取り付け、ガイド駒の中央穴から下方に挿入する。

2 ジャッキの取付け

ジャッキ本体、支持脚、引上げ駒、油圧シリンダを取り付け、油圧ホース、油圧ポンプを接続する。必ず油圧系の空気抜きを行って下さい。^{注①}

3 既设立て管の引抜き

油圧ポンプのハンドルを上下させて、既设立て管を引き抜く。油圧シリンダの有効ストロークが45mmのため、ピストンロッド上方のナットを送り込んで引き抜きを繰り返す。

4 スリム継手(-1KST)の挿入

抜き穴径より 1mm 小さい直径の「スリム継手 -1KST」を挿入し、スラブ下で立て管と接続する。スリム継手の種類と仕様は次ページをご覧ください。

5 埋め戻し、完了

継手と立て管とを接続したら、スラブ開口と継手直管部との隙間にモルタルを注入する。

② PJ-350用 引上げ駒・ガイド駒のバリエーション

引上げ駒とガイド駒は同形状です。

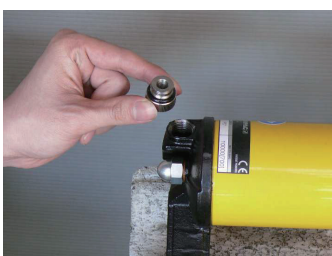
用途	管種	40【2種類】		50【4種類】		65【3種類】		80【4種類】		100【5種類】	
		外径/内径	駒品番	外径/内径	駒品番	外径/内径	駒品番	外径/内径	駒品番	外径/内径	駒品番
給・排	SGP(白管及び黒管)	48.6/41.6	40S	60.5/52.9	50S	76.3/67.9	65S	89.1/80.7	80S	114.3/105.3	100S
給	VLP-A及びB	48.6/38.6	40V	60.5/49.9	50V	76.3/64.9	65V	89.1/76.7	80V	114.3/101.3	100V
排	DVLP	48.6/41.6	40S	60.5/53.5	50DV	76.3/68.7	65DV	89.1/80.5	80DV	114.3/104.7	100DV
排	α鋼管(SGP)	48.6/41.6	40S	60.5/52.9	50S	76.3/67.9	65S	89.1/80.7	80S	114.3/105.3	100S ^{注)}
排	α鋼管(薄肉管)	—	—	—	—	—	—	—	—	114/108	100U ^{注)}
排	排水鋳鉄管1種	—	—	62/50	50F	—	—	87/75	80F	112/100	100F
排	排水鋳鉄管2種	—	—	—		—	—	84/75		109/100	
排	排水鋳鉄管メカ	—	—	58/50		—	—	83/75		108/100	

注)ソベント継手は下部直管部の実内径を確認の上、ご注文下さい。

油圧式PJ-350の使用上のご注意

★下記の使用上のご注意の他、ENERPAC社 共通取扱説明書(別添)をよく読み、正しくご使用下さい。

注① ジャッキアップの前に、予めシリンダやホース内の空気抜きをしてください



シリンダやホース内の空気抜き。

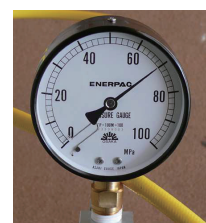
注② シリンダのストロークエンドを超えて使用しないで下さい。(有効ストローク:45mm)



ストロークエンド/
下点は本体から15mm突出した位置です。
ストロークエンド/
上点は本体から60mm突出した位置です。

注③ シリンダの許容圧力70MPa以下で
ご使用下さい。

シリンダの許容圧力
[70MPa]より
高い圧力のポンプは絶対に
接続しないで下さい。



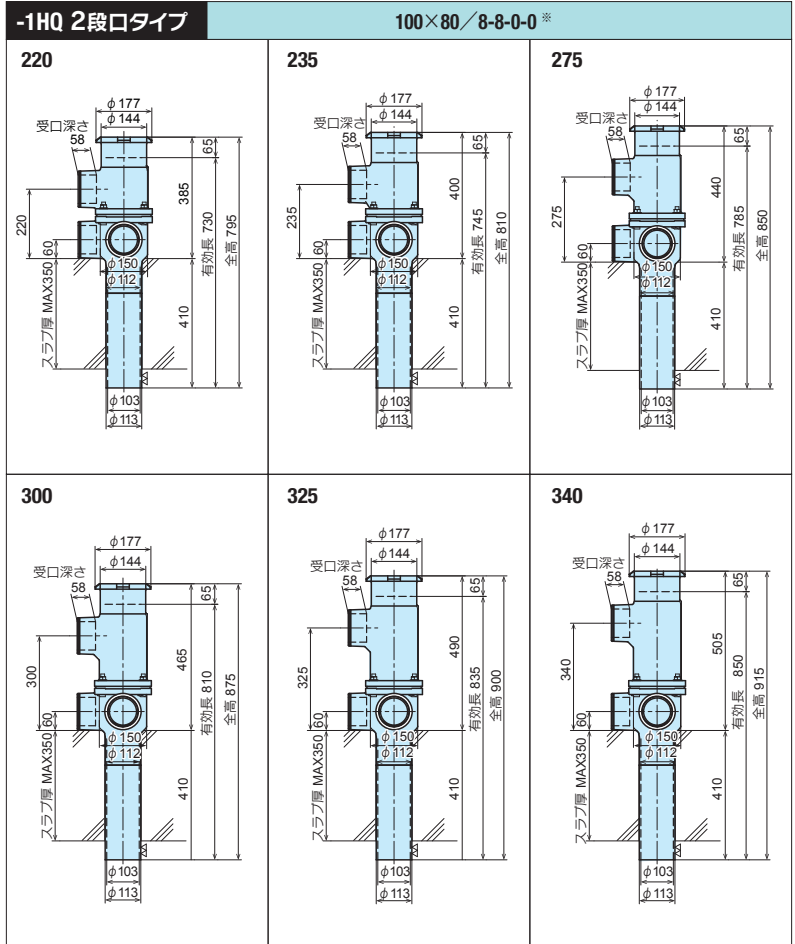
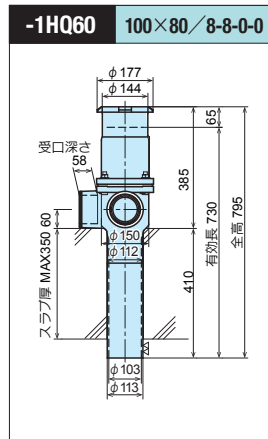
シリンダの許容圧力[70MPa]を超えてもシリンダが上昇しない場合は立て管がスラブ内で、床バンド等によって固定されているか、引き抜きの妨げとなる形状あるいは抵抗物があると考えられます。この場合には、PJ-350で引き抜くことができません。

過負荷は油圧機器の破損の原因となり、重大事故を招きます。

なお、シリンダ・ホース・ポンプには衝撃を与えないで下さい。

2. 納める……スリム継手の種類と仕様

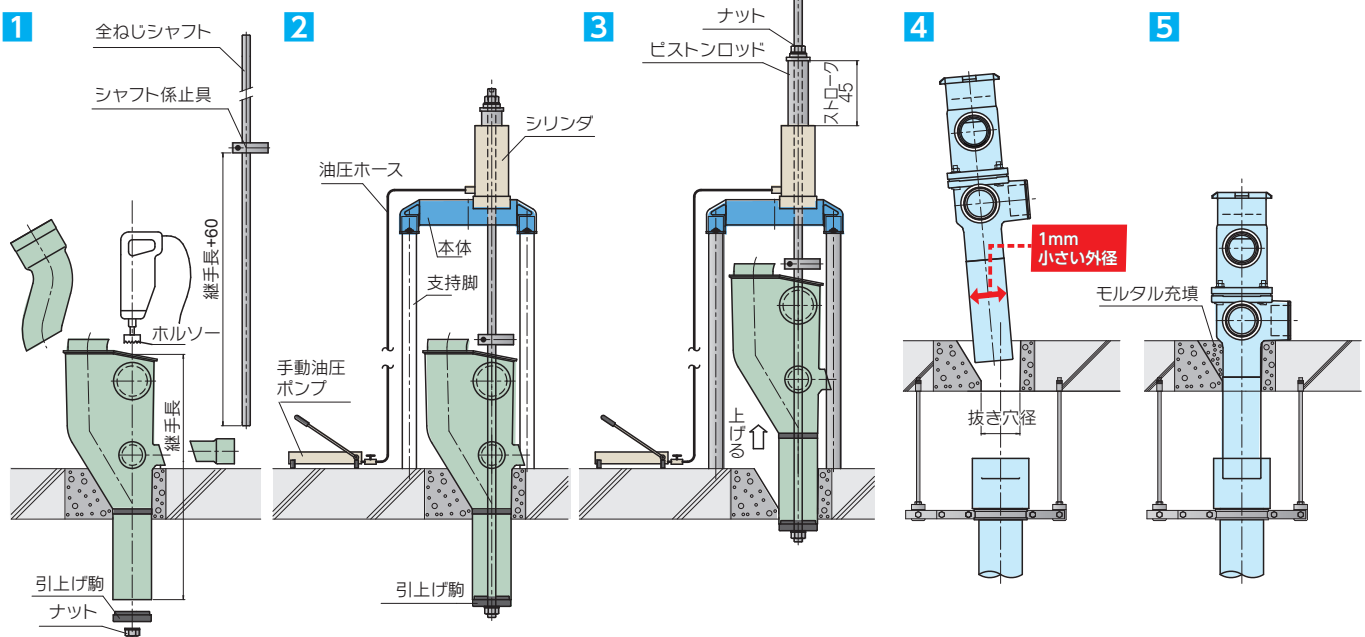
既設立て管より1mm小さい
外径の継手



※-1HQ 2段ロタイプ 100×80/8-0-0-8 もあります。

3. ソベント継手改修用に

ソベント継手の更新施工手順



1 配管の切断と穴あけ

ソベント継手上部のS字管と横枝管を切断し撤去する。立て管芯を通るソベント継手の上面にホルソーでφ50の穴をあける。全ねじシャフトの下端から継手長+60mmの位置にシャフト係止具を取り付け、φ50の穴から下方に挿入する。

2 ジャッキの取付け

ジャッキ本体、支持脚、引上げ駒、油圧シリンダを取り付け、油圧ホース、油圧ポンプを接続する。必ず油圧系の空気抜きを行って下さい。注①

3 ソベント継手の引き抜き

油圧ポンプのハンドルを上下させて、ソベント継手を引き抜く。油圧シリンダの有効ストロークが45mmのため、ピストンロッド上方のナットを送り込んで引き抜きを繰り返す。



4 スリム継手(-1HQ)の挿入

抜き穴径より1mm小さい直管外径の「スリム継手-1HQ」を挿入し、スラブ下で立て管と接続する。

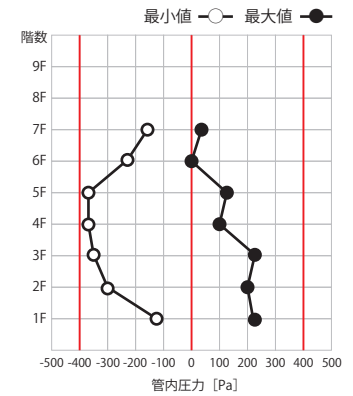
5 埋め戻し、完了

継手と立て管とを接続したら、スラブ開口と継手直管部との隙間にモルタルを注入する。

4. 排水性能……スリム継手の許容流量 [l/s]

品番		スラブ上面から汚水又は雑排水横枝管芯までの寸法		システム	許容流量 [l/s]	用途
-1HQ	100×80-80(L)	60	-	特殊継手排水システム	5.8-11F 5.7-15F 5.0-30F	汚雑・合流式
	100×80/8-8-0-0	220~275 300~340	3種 3種			
-1HQ(E)	上記バリエーションの接続口80をエキセンブッシュEMBを使用して、65または50に変更することができます。		  EMB 80×50 接続部 EMBにソケットを接続した場合			汚雑・合流式
-1KST	100×80	60	-	特殊継手排水システム	3.5-11F 3.5-15F	※
-1KST(E)	100×65	51.5	-			雑排水用
		100×50	44	-		
-1WT	80×65-65(L)	51.5	-	特殊継手排水システム または、二管式(要:通気立て管)	3.0-7F または通気立て管付 4.2	雑排水用
-1WT(E)	80×65-50(L)	44	-			
	80×50-65(L) 80×50-50(L)	51.5 51.5	- -			
-1ST	65×50	44	-	二管式(要:通気立て管)	通気管付2.8	雑排水用

■管内圧力分布図



供試継手: -1HQ60
100×80-80(L)
試験方法: SHASE-S 218
定流量負荷: 5.75 [l/s]

※WC単独の場合は、お問い合わせ下さい。

5. -1HQ 立て管径100seriesの適応高さ／負荷流量早わかり

器具組合	便器	浴槽	洗濯機	洗面器	台所	1フロア当たり	qd [l/s]: 器具平均排水流量	q [l/s]: 器具定常流量	各階同じ器具組合せの場合の階数				
									10階	16階	17階	25階	
qd [l/s]	1.5	1.0	0.75	0.75	0.75	定常流量	MAX						
q [l/s]	0.013	0.015	0.017	0.009	0.03	Σ q [l/s]	qd						
P3						0.045	1.5	管定常流量	0.450	0.720	0.765	1.125	
								立て管負荷流量	4.4	5.3	5.5	6.4	
P4						0.054	1.5	管定常流量	0.540	0.864	0.918	1.350	
								立て管負荷流量	4.7	5.7	5.8	6.9	
P5						0.084	1.5	管定常流量	0.840	1.344	1.428	2.100	
								立て管負荷流量	5.7	6.8	7.0	8.3	
P15						0.041	1.0	管定常流量	0.410	0.656	0.697	1.025	
								立て管負荷流量	3.4	4.1	4.2	5.1	
P16						0.071	1.0	管定常流量	0.710	1.136	1.207	1.775	
								立て管負荷流量	4.3	5.3	5.4	6.5	

6. 施工例

1 汚雑合流系統 トイレとユニットバス間に配管されていたα管100A立て管をPJ-350で引抜き、-1KST 100×80 をスッポリ納める。



2 内法寸法600mmのPSIに配管されていた台所単独立て管65AをPJ-350で引抜き、-1ST65×50をスッポリ納める。



水とくらしのグッドパートナー

株式会社 **小島製作所**

E-mail kojima@kojima-core.co.jp
http://www.kojima-core.co.jp

特約店

本社 〒454-0027 名古屋市中川区広川町5丁目1番地
TEL.052-361-6551(代) FAX.052-361-6556
IP電話 050-3535-8295(営業)

首都圏 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-17朝日ビル4階
コアセンター IP電話 050-3732-9412
MCC FAX.03-5652-6355 E-mail mcc@kojima-core.co.jp